

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度		2024年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス	開設学科		管理栄養学科					
科目名称		臨床医学Ⅱ					授業形態		講義				
科目コード		309703	単位数		2単位	配当学年		2	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名		小川 恒夫										ICT活 用	
授業概要		<p>本授業の目的は疾患の症状、診断法、治療法を学ぶ事である。</p> <p>医療機関で勤務する際に、遭遇する可能性の高い疾患について、それぞれの専門医師（内科、外科、整形外科、精神科、産婦人科）より講義を受ける。「臨床医学Ⅰ」では疾病の病態生理を中心に講義したが、「臨床医学Ⅱ」では、症状、診断法、治療法に重点を置いて講義する。</p> <p>8名中7名は現役医師による講義なので、教科書の知識だけではなく、卒業後すぐに役に立つ様な、実際の臨床の場に即した内容や、最新の治療法についても学習する。</p>											
関連する科目		<p>本授業の履修前に受講することが望ましい科目：からだと疾病Ⅰ・Ⅱ、臨床医学Ⅱ</p> <p>本授業の履修後に受講することが望ましい科目：臨床栄養学Ⅱ～Ⅳ</p>											
授業の進め方 と方法		<p>各疾患について、原因、症状、検査データ、治療法について講義をする。基本的にはパワーポイントを使用して講義する。課題を与え、それに対して学生どうしてディスカッションをし課題を解決するという形式を必要に応じて取り入れる。就職すると医療機関で働く際に多職種間でのカンファレンスに参加することが要求されるが、それを念頭において行う。</p>											
授業計画 【第1回】		1 産婦人科疾患の理解(金子) 当該疾患について原因、病態生理、診断法を理解する。											
授業計画 【第2回】		2 産婦人科疾患の治療(金子) 当該疾患について薬物療法、手術療法、食事療法を中心に学ぶ。											
授業計画 【第3回】		3 膠原病、感染症、血液疾患の診断(石原) 当該疾患について原因、病態生理、診断法を理解する。											
授業計画 【第4回】		4 膠原病、感染症、血液疾患の治療(石原) 当該疾患について薬物療法、手術療法、食事療法を中心に学ぶ。											
授業計画 【第5回】		5 内分泌疾患、糖尿病、肥満症の診断(秋枝) 当該疾患について原因、病態生理、診断法を理解する。											
授業計画 【第6回】		6 内分泌疾患、糖尿病、肥満症の治療(秋枝) 当該疾患について薬物療法、手術療法、食事療法を中心に学ぶ。											
授業計画 【第7回】		7 精神疾患、神経性食欲不振症の診断(宮崎大学精神医学教室教員) 当該疾患について原因、病態生理、診断法を理解する。											
授業計画 【第8回】		8 精神疾患、神経性食欲不振症の治療(石田) 当該疾患について薬物療法、手術療法、食事療法を中心に学ぶ。											
授業計画 【第9回】		9 呼吸器疾患 肺腫瘍の診断(竹内) 当該疾患について原因、病態生理、診断法を理解する。											
授業計画 【第10回】		10 呼吸器疾患 肺腫瘍の治療(竹内) 当該疾患について薬物療法、手術療法、食事療法を中心に学ぶ。											

授業計画【第11回】	11 整形外科疾患、骨粗鬆症の診断、治療（岩城） 当該疾患について原因、病態生理、診断法を理解し、薬物療法、手術療法、食事療法を学ぶ。
授業計画【第12回】	12 生活習慣病、脂質異常症の診断（玉置） 当該疾患について薬物療法、手術療法、食事療法を中心に学ぶ。
授業計画【第13回】	13 生活習慣病、脂質異常症の治療（玉置） 当該疾患について原因、病態生理、診断法を理解する。
授業計画【第14回】	14 臨床医学全般の知識のまとめ（1）（河野） 第14回、第15回の2回にわたり、国家試験の過去問を解きながら、様々な疾患の知識をまとめていく。
授業計画【第15回】	15 管理栄養士にとって必要な知識のまとめ（2）（河野） 第14回、第15回の2回にわたり、国家試験の過去問を解きながら、様々な疾患の知識をまとめていく。
授業の到達目標	①各疾患の具体的な症例を通して、実際の臨床に即した内容や、最新の医療について理解する。【知識・理解の獲得】
学位授与の方針（DP）との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)
授業時間外学習【予習】	次の授業内容について教科書を読んで来ること。（1時間程度）
授業時間外学習【復習】	その日に講義された内容を教科書や参考書を使って知識の整理をする事。（1時間程度）
課題に対するフィードバック	最終試験は採点后、返却解説をします。
評価方法・基準	課題（5点） 小テスト（5点） 期末テスト（90点）
テキスト	はじめての解剖生理学 講義と実習 金澤寛明 著 南江堂
参考書	人体の構成と機能及び疾病の成り立ち 総論、各論Ⅰ、各論Ⅱ 南江堂
備考	